

科目名	開発経済学A				
英語科目	ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n)を参照			
開講期	春学期	開講学部等	経済学部	配当年次	2年次
教員名	大坂 仁	単位数	2単位		

授業概要／Course outline

開発経済学（または経済発展論）の知識や理論について参考文献にもとづいて学んでいく。特に、開発経済学Aでは途上国の経済発展の諸相の中でも貧困問題、所得不平等、人口問題、農業開発や環境問題について学修を進めていき知識を深めていく。

授業形態・授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））

オンデマンド授業はmoodleで行う。内容に関する質問はメールで受け付ける。

・実務経験のある教員による授業

国際機関（国連）で勤務経験のある教員が、その経験を生かしてアジア地域の経済発展を参考例に講義を進めていく。

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回 ガイダンス：この授業の概要について説明を行う。

第2回 経済成長の概観：世界銀行の所得分類に基づいて途上国を概観し、国連開発計画（UNDP）の人間開発指数（HDI）について解説する。また、途上国に共通する特徴や、現在の低所得国は初期段階の先進国とどのように異なっているかについて検証する。

第3回 貧困と不平等の測定：途上国の貧困と不平等について現状を概観し、また不平等の測定と貧困の基準について解説する。

第4回 絶対的貧困と貧困層の経済的特性：二部門経済の成長と所得不平等の変化について説明し、クズネッツの逆U字仮説についても説明する。また、絶対的貧困の意味や貧困層の経済的特性についても議論する。

第5回 人口趨勢と人口転換：世界人口の構成について説明し、人口転換論について解説する。

第6回 マルサスの罠と出生の経済理論：マルサスの罠について議論し、出生の経済理論について解説する。

第7回 都市化：途上国で急速に進む都市化の問題を取り上げ、インフォーマルセクターの役割について解説する。

第8回 第2回から第7回授業の復習：復習テストを行う。

第9回 人口移動：農村と都市間の人口移動に関して基本的な理論や概要について解説する。

第10回 開発のための教育と健康：開発における教育と健康の重要性に関して議論し、また健康と教育分野における投資について説明する。

第11回 教育の経済効果：教育の経済効果について考察し、児童労働やジェンダーの課題（女性と教育）についても議論する。

第12回 農業における現状と課題、および農業の技術革新：農業の過去と現在の課題について議論する。また、途上国の農業システムの構造、またどのように技術革新が起こるのか議論する。農業における女性の役割についても解説する。

★オンデマンド 持続可能な開発：環境と開発の問題を取り上げ、途上国の環境問題についてオンデマンド授業で行う。オンデマンド授業は約90分の動画をmoodleで配信する。

第13回 環境の経済モデルと国家の環境政策：環境の経済モデルについて解説し、また途上国と先進国の政策について議論する。

第14回 これまでの授業、およびオンデマンド授業の復習：期末試験を行う。

事前・事後学修／Preparation and assignments

第1回：[事前学修]参考文献の項目を読んでおくこと。

[事後学修]授業の内容をまとめ理解すること。

第2回：[事前学修]参考文献①の第2章を読んでおくこと。

[事後学修]授業内容をまとめ、所得水準の違う途上国の特徴や経済成長の類似点について理解すること。

第3回：[事前学修]参考文献①の第5章を読んでおくこと。

[事後学修]授業の内容をまとめ、不平等の経済的な意味について理解すること。

第4回：[事前学修]参考文献①の第5章を読んでおくこと。

[事後学修]授業の内容をまとめ、貧困の経済的特性について理解すること。

第5回：[事前学修]参考文献①の第6章を読んでおくこと。

[事後学修] 授業の内容をまとめ、人口転換について理解すること。

第6回：[事前学修] 参考文献②の第1章と第2章を読んでおくこと。
[事後学修] 授業の内容をまとめ、マルサスの貧困の罫と出生の経済理論について理解すること。

第7回：[事前学修] 参考文献①の第7章を読んでおくこと。
[事後学修] 授業の内容をまとめ、都市化の問題について理解すること。

第8回：[事前学修] 第2回から第7回までの授業内容をまとめておくこと。
[事後学修] 第2回から第7回までの授業内容を復習し理解すること。

第9回：[事前学修] 参考文献①の第7章を読んでおくこと。
[事後学修] 授業の内容をまとめ、経済発展における人口移動の問題について理解すること。

第10回：[事前学修] 参考文献①の第8章前半を読んでおくこと。
[事後学修] 授業の内容をまとめ、開発における教育と健康の重要性について理解すること。

第11回：[事前学修] 参考文献①の第8章後半を読んでおくこと。
[事後学修] 授業の内容をまとめ、教育の経済効果について理解すること。

第12回：[事前学修] 参考文献①の第9章を読んでおくこと。
[事後学修] 授業の内容をまとめ、農業の現状と課題、技術革新、および農業における女性の役割について理解すること。

★オンデマンド 持続可能な開発：[事前学修] 参考文献①の第10章を読んでおくこと。
[事後学修] 授業の内容をまとめ、持続可能な経済発展について理解すること。

第13回：[事前学修] 参考文献①の第10章を読んでおくこと。
[事後学修] 授業の内容をまとめ、環境の経済モデルについて理解すること。

第14回：[事前学修] これまでの授業、およびオンデマンド授業の内容をまとめておくこと。
[事後学修] これまでの授業、およびオンデマンド授業を復習し理解すること。

* 事前学修の所要時間の目安は各授業90分、事後学修は所要時間の目安も各授業90分である。上記内容を確認して、しっかりと事前・事後学修を行うこと。

授業の到達目標/Expected outcome

- ・開発経済学の枠組みや概要について理解し、また経済成長の概観ならびに個別の課題（開発経済学Aで取り上げる項目）について説明できるようになること。
- ・経済学部のディプロマ・ポリシーにあるとおり、経済学的思考方法に基づいて、現実の世界や日本の経済社会の動向を把握し、分析できる十分な知識と教養を有すること。

身につく資質・能力/Competencies to be attained

- | | |
|---------|-------------|
| ・ 思考力 | 専門知識・専門技能 |
| ・ 幅広い教養 | 【経済学部 経済学科】 |
| ・ 主体性 | ・ 応用理論 |
| | ・ 政策分析能力 |

履修上の注意/Special notes, cautions

- ・ 授業中の私語は厳禁とし、受講態度が目には余ると教員が判断した場合には減点の対象とすることがあるので注意すること。
- ・ 携帯電話の電源は講義前に切っておくこと。
- ・ 積極的に質問すること。ただし、質問は授業前後ではなく設定するオフィスアワーの時間に受けることとし、事前に電子メールなどでアポイントメントを取ることが望ましい。
- ・ 本科目の履修者は開発経済学B（来年度開講予定）も履修することが望ましい。

評価方法/Evaluation

復習テスト（中間試験）50%、期末試験50%。

教材/Text and materials

参考文献

- ①マイケル P. トダロ、ステファン C. スミス（著）、森杉壽芳（監訳）、OCDI開発経済研究会（訳）『トダロとスミスの開発経済学（原著第10版）』（ピアソン桐原、2010年）。
- ②渡辺利夫（著）『開発経済学入門（第3版）』（東洋経済新報社、2010年）。
- ③その他の教材。

質問や相談の方法/Instructor contact

研究室：第1研究室棟 840研究室
 オフィスアワー：火曜日3限（13：15～14：45、電子メールなどでの事前連絡が望ましい）
 連絡先：moodleに記載するメールアドレス

その他/Others

諸事情により、参考文献を変更することがあるので注意すること。